

毎月 11 日は「人権を確かめあう日」です

あいさつで 人と人のつながいを！

あいさつはコミュニケーションの始まり

私たちが人と最初に交わす言葉は、「おはようございます」や「こんにちは」といった、あいさつからはじまります。

何気ないこのあいさつが、人と人とをつなぐコミュニケーションです。

パソコンや携帯電話の普及で、人と人とのつながりが希薄になりつつある昨今、あいさつはコミュニケーションを形成する大切な役割を持っています。

同じ職場で顔を会わせてもあいさつをしない大人も増えてきています。

子どもにあいさつの大切さを教えるためにも、まず大人から行動し、手本を示しましょう。



日頃からあいさつを

「いただきます」・「ごちそうさま」・「ありがとう」・・・人の好意に対して
感謝の気持ちを深め、感謝する行動につながります。
「おはよう」「おやすみ」・・・親子のコミュニケーションを促します。
「こんにちは」「さようなら」・・・周りの人とのつながりが広がります。

コミュニケーション不足が、「キれる」子どもをつくる原因ともいわれています。

「キれる」という衝動は、感情の高ぶりを理性で抑えきれなくなる状態を指すと言われており、「むかつく」という言葉とともに、社会問題となっています。

子どもが自分の考えを素直に伝え、それを周りの大人がきちんと受け止められる環境づくりが大切です。

日常生活から積極的にあいさつを取り入れ、コミュニケーションを深めましょう。



宇陀市人権啓発活動推進本部